

## 2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科	科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	心理学と心理的支援	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	1年	学期及び曜時限	前期 火2限	教室名	心理実習室
担当教員	柴 純基				
《授業科目における学習内容》					
①人の心の基本的な仕組みと機能を理解し、環境との相互作用の中で生じる心理的反応を理解する。 ②人の成長・発達段階の各期に特有な心理的課題を理解する。 ③日常生活と心の健康との関係について理解する。 ④心理学の理論を基礎としたアセスメントの方法と支援について理解する。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験の点数70% 出席点20% 提出物・受講態度点10%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
参考図書:よくわかる心理学 ミネルヴァ書房 心理学入門 有斐閣アルマ					
《授業外における学習方法》					
参考図書を読むなど自分でも勉強する					
《履修に当たっての留意点》					
心理学の基礎について丁寧に楽しくふれていきます。わからないことがあれば遠慮せずに質問等してください。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	心理学の歴史と対象について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマに おける 授業予定	心理学の起源 心理学の発展と対象		
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	心を探求する方法の発展について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマに おける 授業予定	生態学的心理学、進化心理学的アプローチ、認知行動科学、行動遺伝学		
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	心の生物学的基盤について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマに おける 授業予定	脳の構造、神経機能、遺伝		
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	感情・動機づけ・欲求について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマに おける 授業予定	感情の仕組み、機能、動機付け理論		
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	感覚・知覚について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマに おける 授業予定	知覚の情報処理過程、感覚モダリティ、アフォーダンス		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	学習・行動について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	馴化、鋭敏化、古典的条件付け、道具的条件付け		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	記憶、注意、思考、認知バイアス		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	個人差について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	知能、パーソナリティ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	人と環境について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料 映像資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	対人関係、集団、組織、自己		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	生涯発達について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	発達の定義、ライフステージと発達課題		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	心の発達の基盤について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	認知発達理論、言語発達、アタッチメント理論、道徳性の発達		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	心の不適応と健康生成論について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	不適応の理論、ストレス理論、燃え尽き症候群、トラウマ、依存症		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理的アセスメントと心理的支援の基本的技法について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	心理アセスメントの方法、事例定式化、ソーシャルワークにおける心理的支援、支持的精神療法、マイクロカウンセリング、動機付け面接		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	心理療法におけるアセスメントと介入技法の概要について説明できる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	精神分析、認知行動療法、応用行動分析、家族療法、グループセラピー、対人関係療法		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	科目のまとめと振り返りを通じて知識のアウトプットができる。	PC、プロジェクター、配布資料	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。
		各コマにおける授業予定	心理の専門職、公認心理師 まとめと最終確認		